



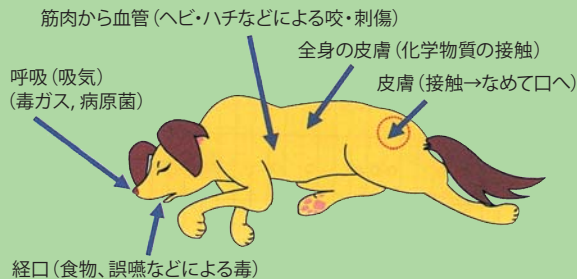
中毒

シリーズ①

最近、中毒症状で来院されるワンちゃんネコちゃんが多くなってきています。

ワンちゃんネコちゃんは、好奇心旺盛です。目の前にあるものを、確認するために口にしてしまう事が多いです。

【毒の動物体内への侵入経路】



今回は有毒植物についてお話しします。

【有毒植物一覧】

●:中毒症状がみられる ●:重大な中毒症状がみられる

植物名	有毒部分	皮膚・粘膜	嘔吐・下痢	循環器	神経	肝・腎	呼吸麻痺
アーモイト	種子		●				
アサガオ	種子		●				
アザミ	葉・花	●					
アジサイ	蕾		●				
アセビ	全体		●				
アマリリス	球根		●				
アヤメ	根茎		●				
アンセリウム	草液		●				
イカリソウ	全草		●				
イチイ	種衣以外			●			●
イヌサフラン	茎・根	●	●				●
ウルシ	全体		●				
オシロイバナ	種子・葉		●				
カラジウム	草液	●					
キキョウ	根茎		●				
キハササジ	全草		●				●
クリスマスローズ	全草	●					
ケマンソウ	葉・茎		●				●
ゴクラクチョウカ	全草		●				
ザクロ	樹皮		●				
シキミ	全体		●				●
シクラメン	茎・根		●				
ジャガイモ	芽	●	●				
ジャコウソウ	葉・花		●				
シンチョウゲ	花・葉	●	●				
スイートピー	全草		●				
スイセン	鱗茎		●				
スズラン	全草		●				
セイヨウキツタ	葉・果実	●	●				
センダン	果実・樹皮		●				
ソテツ	種子・葉		●				●
タマメギ	全草	●	●				
チューリップ	鱗茎		●				
チョウセンアサガオ	全草		●				●
テッセン	茎・葉		●				
トリカブト	全草	●	●				●
ニンニク	全草		●				
ハイケイソウ	全草		●				
ハゼノキ	全体	●	●				
ヒガンバナ	全草		●				
フクジュソウ	全草		●				
フジ	全体		●				
ポインセチア	茎・葉	●	●				
ボトス	草液		●				
モンステラ	草液		●				
ヨウシュヤマゴボウ	全草		●				
ロベリア	全草		●				

身のまわりにある植物をあげてみました。植物図鑑、インターネットなどで知らない植物は調べてみて下さい。お散歩コースで遭遇する植物があるかもしれませんね。

What 動物の病気

～眼科編～

マイボーム腺炎、マイボーム腺腫

まぶたには、その縁に沿って多数の腺があります。これをマイボーム腺といいます。



マイボーム腺

この腺の分泌物は、まぶたの縁から涙がこぼれることを防ぎ、眼球をなめらかで湿った状態に保ち、まぶたの開閉の滑りを良くしています。

マイボーム腺炎

マイボーム腺に、細菌感染がおきて炎症が起こる病気です。1カ所のマイボーム腺で起こる場合もありますが、複数のマイボーム腺が同時に炎症を起こす場合が多いです。人では「ものもらい」と呼ばれ、名前だけを見ると伝染しそうですが、犬から犬へは伝染しません。

【症状】

まぶたの縁が赤く腫れあがります。二次的に目が開けづらくなったり、涙や目ヤニが多くなったりします。かゆみを伴うことが多いので、前肢でこすったり、床などにこすりつけたりすると、角膜に傷ができることもあります。

【治療】

抗生物質の目薬を使用しますが、時には内服薬も必要となります。かゆみがあり、前肢でかいてしまう場合には、エリザベスカラーを使用することもあります。

ワンちゃんに多いです



マイボーム腺腫

5～6歳以上の、高齢のワンちゃんでは、マイボーム腺が腫瘍となってまぶたの表面にイボ状の突起として出てくる場合があります。

良性の事が多いですが、まれに悪性のものもあります。外観ではわかりません。



【症状】

単発でできるのですが、3つ4つと増えていくワンちゃんもいます。特に、まつげに近いところに出来たマイボーム腺腫は目の表面に刺激を与えるので、角膜炎の原因にもなります。目ヤニ、涙が多くなり、目が開けづらくなってきます。

【治療】

マイボーム腺腫は、内服薬、目薬でなくなる事はなく、外科的に摘出します。小さい腫瘍ですと、麻酔時間も短く、傷口も小さく済みますので、早めに切除することをおすすめします。



ワンちゃんネコちゃんのお口は臭くありませんか？

“ワンちゃんネコちゃんのお口が臭い”と来院される方が最近多いようです。この口臭の原因は、主に歯石です。歯石とは、食べ物のカスなどが歯について、はじめの段階では柔らかい垢の状態ですが、時間が経つにつれて硬くなり歯に張り付いてしまいます。歯石をためておくと、歯茎(歯周)を圧迫することになり、

歯肉炎を起こします。口臭もひどく、歯がぐらつきはじめ、最後には抜け落ちてしまいます。

治療は、超音波装置で歯石をとっていきます。歯石が取れてピカピカになり、口臭もなくなりますので、口臭が気になる方は相談して下さいね。(第7号のニューズレターで歯について詳しく話してあります。)

